



大杉東小だより

令和7年1月8日 NO. 11

江戸川区立大杉東小学校 校長 高橋 真

新年あけましておめでとうございます

今年も穏やかな日差しの下、新年を迎えることができました。新年あけましておめでとうございます。令和7年も、子供たちの健やかな成長を願い、日々の笑顔を大切に、地域の皆様や保護者の皆様のご支援をいただきながら、子供たち一人一人の資質と能力をさらに伸ばし、子供たちと共に「夢のある学校」を築いていきたいと思っております。教育活動へのご理解並びにご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

さて、今年の干支は「乙巳（きのとみ）」。「乙」は十干の2番目で、誕生した生命が成長していく状態。「巳」は十二支の第6番目で「蛇」を表し、古来より豊穰や金運を司る神様として祀られています。また、逞しい生命力があり、脱皮するたびに表面の傷が治癒していくことから、医療や治療、再生のシンボルともされているそうです。ですからこの組み合わせである「乙巳」は、「これまでの努力や準備が実を結び始める年」となるようです。いよいよ校庭も完成する大杉東小学校のこれまでの教育活動の成果が存分に発揮される、そんな1年と言えます。

前回（60年前）の「乙巳」は、57か月間に及ぶ好景気「いざなぎ景気」が始まった年です。東京オリンピック開催後の余波もあり、当時の国民は冷蔵庫や洗濯機、テレビなどの家電製品や自動車を積極的に購入しました。人々の購買意欲は企業の生産活動を活発にし、さらに企業の積極的な設備投資も相まって日本経済全体を大きく押し上げました。人々の生活は豊かさを増し、戦後復興から経済大国への転換点などと呼ばれたそうです。

生活水準が高まることも大切ですが、子供たち一人一人の心が穏やかで豊かになる、そんな1年になることを願っています。

次年度に向けて

○登校班を廃止します。

今年度、登校班は4月のみ実施しました。その後個人登校をしていますが、特に大きな問題は発生していませんので、7年度は年間を通じて個人登校とします。地域や保護者の皆様には、これまで同様、登校時の旗振りをお願いいたします。また、校庭完成後も、使用門や通学路は現状どおりとします。

○週時程を変更します。

大杉1丁目児童公園への移動がなくなることで、校庭で全学年が遊べることから、時程をコロナ禍以前に戻します。登下校時間への影響はありません。これまで中休みに行っていた「全校朝会」「中読書」「児童集会」は、1時間目始業前に行います。読み聞かせ等よろしくお願いいたします。なお、今年度より実施している「月曜日全学年5時間授業」と「水曜日全学年4時間授業。5時間目にクラブ活動および委員会活動」は継続します。

新校舎落成記念セレモニー

新校舎が完成してからもうすぐ1年。新校舎に移転してから始まった校庭や外周の工事もいよいよ最終段階となりました。予定では3月上旬に学校に引き渡され、いよいよ校庭での体育学習や休み時間の運動遊びが始められます。校庭・外周工事の完成をもって、令和3年度から始まった改修工事をすべて終えることとなります。

学校では、新校舎及び新校庭の完成をお祝いする「記念セレモニー」を3月15日（土）に実施しようと、地域の方々と計画しています。当日は、校庭に、本校の学区域である四つの町会の会長にお越しいただき、各町会の代表児童と「記念樹」を植えることを予定しています。詳しくは後日ご案内いたしますが、ご都合がつく方はぜひいらしてください。

